

18/1 期原料高、為替円高で売上は想定通りも利益は大幅減額で着地 19/1 期は増収も費用増

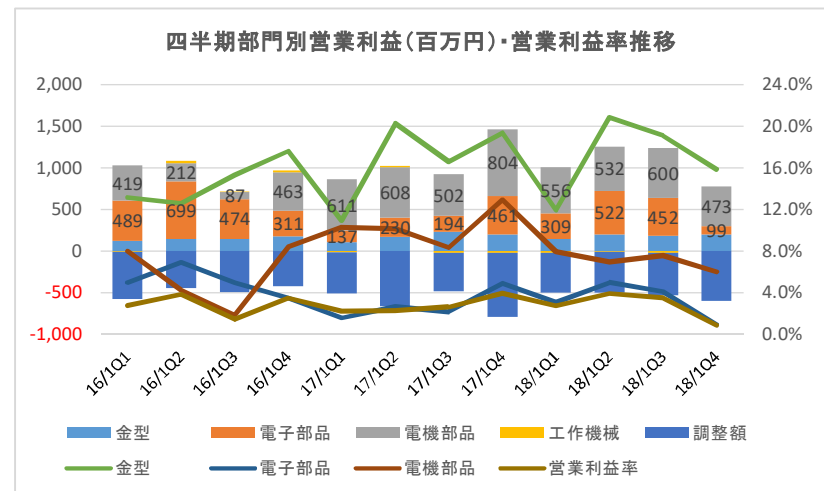
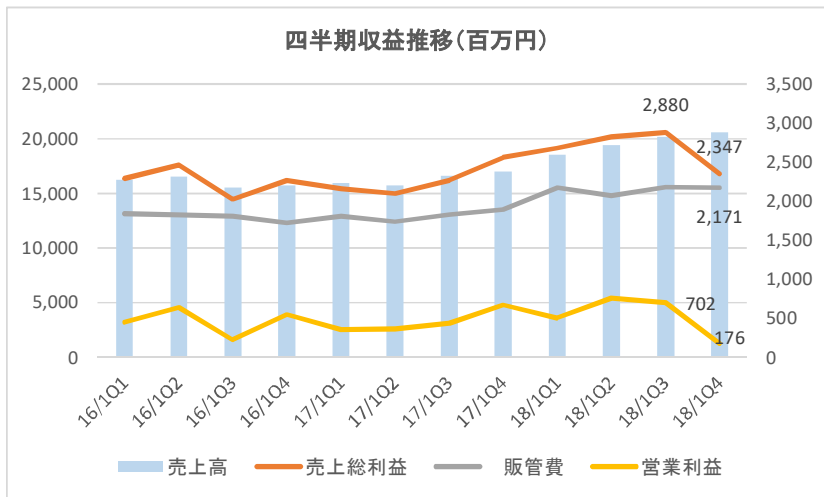
株価 2023 円 (3/15) 時価総額 859 億円 (3/15) 発行済株 42466 千株 (3/15)
 PER (19/1D O 予 : 43.2X) PBR (1.53X) 配当 (D O 予) 10.0 円、 配当利回り : 0.4%

要約

- ・ 18/1 期は 20.5%増収も材料高、円高が直撃し利益は大幅減額、Q4 経常利益は赤字に
- ・ 19/1 期は円高、人件費原料高、新工場償却負担増などで 10.5%増収も 30%営業減益予想
- ・ 株価は EV 関連企業として注目されるものの大幅減益予想で 1500 円ニュートラルに変更

18/1 期は 20.5%増収も材料高、円高が直撃し利益は大幅減額、Q4 経常利益は赤字に

3/15 に決算の開示が行われた。18/1 期は売上高 787.27 億円 (20.5%増)、営業利益 21.42 億円 (17.6%増)、経常利益 18.56 億円 (8.1%減)、税引利益 19.06 億円 (3.0%増) と、売上では会社計画を 27.27 億円上回り、D O 予想並みの数字を達成したものの、利益は急速な材料高と期末の円高影響をもろに受け、会社予想に対し営業利益で 4.58 億円 (D O 比 8.58 億円)、為替評価損発生で経常利益では 7.44 億円 (同 11.44 億円) の減額で着地した。Q3 まで好調を持続、



Q4 だけをみると、売上高は前年同期比 20.8%増の 205.74 億円ながら、営業利益は 73.7%減の 1.74 億円、経常利益は為替差益 1.75 億円が為替差損 2.04 億円と 3.79 億円悪化したため 1.11 億円の経常赤字に転落した。

部門別では売上面でどの部門もほぼD O想定通りであったが、利益で原材料費比率が高いとみられる電機部品が大きく低迷した。具体的に Q4 は金型が売上高 12.74 億円 (23.4%増)、営業利益 2.02 億円 (1.0%増) ながら、リードフレームを中心とする電子部品が売上高 110.04 億円 (16.7%増)、営業利益 0.99 億円 (78.5%減)、モーターコアを中心とする電機部品も、新工場の償却負担増などもあり売上高 78.54 億円 (26.2%増)、営業利益 4.73 億円 (41.2%減) と大幅減益に。

19/1 期は円高、人件費原料高、新工場償却負担増などで 10.5%増収も 30%営業減益予想

19/1 期は前 Q4 の状況が継続、円高、原料高の中で大型設備投資の償却負担増が加わり、売上高が 10.5%増の 870 億円と 2 ケタ増収予想ながら、営業利益は 30%減益の 15 億円、経常利益も円高による差損発生継続で 19.2%減の 15 億円、税引利益 47.5%減の 10 億円を予想している。

具体的にモーターコアの設備面では、昨年 6 月に立ち上がったカナダ新工場がフル稼働となる中で、さらに岐阜県可児市に 70 億円をかけて新工場を建設中 (建屋着工は昨年 11 月、完成は本年 9 月、量産開始 19 年 2 月予定、初期投資は 2018 年度までに 70 億円) である。トヨタが EV 量産に舵を切り、欧米各社、中国も国家が EV を推進、これに対応すべく投資負担が先行する形に。このような設備増強の中で最大売上部門の電機部品が原料高、円高、高級スマートフォンの低迷などが利益減として直撃する形に。

実際は為替が 110 円程度に推移すれば営業増益は確保できると判断するが、当面 Q1 はスマホ低迷などが懸念され、利益低迷が続こう。

株価は EV 関連企業として注目されるものの大幅減益予想で 1500 円ニュートラルに変更

株価は EV 関連銘柄として順調な上昇を続け 11/24 に 2717 円の高値を付けた。その後 12/8 の Q3 発表で通期増額修正発表がなく調整し 1800 円まで下落のあと、2/19 にはゴールドマンの新規推奨 (目標株価 2700 円) もあり 2100 円まで回復し、その後も 2000 円付近の往来相場となっていた。今回の 18/1 期利益減額、19/1 期大幅減益予想で、短期的には 19/1 期会社予想 EPS26.7 円に対して、EV 関連を加味しても PER50 倍の 1300 円程度まで下げる余地がある。但し 3/16 が大幅安として株価は業績悪を織り込むと判断する。その後、1500 円を基準値に、株価回復に時間がかかると判断、レーティングをニュートラルに引き下げる。なお今期はカナダモーターコア工場の本格寄与、為替が 110 円を超え円安方向に転換した場合には、改めてアウトパフォーマンスに変更する場面もあり得る。

三井ハイテック(6966)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
16/1期	64,104	-2.1%	1,858	-39.4%	2,390	-36.6%	1,817	-28.8%	44.33	13.00
17/1期	65,346	1.9%	1,821	-2.0%	2,018	-15.6%	1,849	1.8%	47.41	10.00
18/1Q1	18,553	16.3%	506	43.4%	428	84.2%	934	126.2%	24.17	0.00
18/1Q2会予(6/6)	18,447	17.1%	494	36.8%	572	62.5%	466	82.0%	12.05	6.00
18/1Q2	19,402	23.2%	758	110.0%	781	121.9%	710	177.3%	18.45	6.00
18/1Q3	20,198	21.6%	702	60.6%	758	26.8%	498	-8.6%	13.01	0.00
18/1Q4会予(12/8)	17,847	4.8%	634	-5.4%	633	-24.3%	658	3.6%	16.81	10.00
18/1Q4	20,574	20.8%	176	-73.7%	-111	赤転	-236	赤転	-6.09	10.00
18/1H1期初会予	34,000	7.2%	700	-2.0%	700	19.7%	500	-25.3%	12.94	5.00
18/1H1修正会予(6/6)	37,000	16.7%	1,000	39.9%	1,000	71.1%	1,400	109.2%	36.22	6.00
18/1H1	37,955	19.7%	1,264	77.0%	1,209	106.9%	1,644	145.8%	42.62	6.00
18/1H2期初会予	39,000	15.9%	1,600	44.5%	1,600	11.6%	1,400	18.6%	36.22	10.00
18/1H2修正会予(9/6)	38,045	13.1%	1,336	20.7%	1,391	-3.0%	1,156	-2.0%	29.82	10.00
18/1H2	40,772	21.2%	878	-20.7%	647	-54.9%	262	-77.8%	6.92	10.00
18/1期期初会予	73,000	11.7%	2,300	26.3%	2,300	13.9%	1,900	2.7%	49.16	15.00
18/1期修正会予(6/6)	76,000	16.3%	2,600	42.8%	2,600	28.8%	2,800	51.4%	72.44	16.00
18/1期	78,727	20.5%	2,142	17.6%	1,856	-8.1%	1,906	3.0%	49.54	16.00
19/1H1会予	42,000	10.7%	800	-36.7%	800	-33.8%	600	-63.5%	15.64	4.00
19/1H2会予	43,000	5.5%	700	-20.3%	700	8.2%	500	90.8%	10.43	4.00
19/1期会予	87,000	10.5%	1,500	-30.0%	1,500	-19.2%	1,100	-47.5%	26.07	8.00
18/1Q4DO予(1/22)	20,847	22.4%	1,034	54.3%	1,033	23.6%	1,058	66.6%	27.37	11.00
18/1H2DO予(1/22)	41,045	22.0%	1,736	56.8%	1,791	24.9%	1,556	31.9%	40.17	11.00
18/1期DO予(1/22)	79,000	20.9%	3,000	64.7%	3,000	48.7%	3,200	73.1%	82.79	17.00
19/1H1DO予	43,000	13.3%	900	-28.8%	900	-25.6%	650	-60.5%	16.94	4.00
19/1H2DO予	46,000	12.8%	1,300	48.1%	1,300	100.9%	1,150	338.9%	29.97	6.00
19/1期DO予(1/22)	89,000	12.7%	4,400	46.7%	4,400	46.7%	3,050	-4.7%	78.91	23.00
19/1期DO予	89,000	13.0%	2,200	2.7%	2,200	18.5%	1,800	-5.6%	46.78	10.00

